



2022年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年5月11日
上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社
コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏
問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111
四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	346,795	8.2	22,952	△25.8	25,654	△24.3	18,770	△28.4	18,244	△29.1	48,106	△4.7
2021年12月期第1四半期	320,558	△5.1	30,937	△21.2	33,901	△9.1	26,228	△3.4	25,719	△3.5	50,480	263.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	38.50	38.50
2021年12月期第1四半期	53.61	53.60

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	1,685,136	997,957	977,690	58.0	2,063.11
2021年12月期	1,704,007	983,877	965,137	56.6	2,036.66

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	72.00	—	72.00	144.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	74.00	—	74.00	148.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,490,000	5.0	160,000	11.5	160,000	6.7	117,000	6.7	249.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期1Q	475,000,000株	2021年12月期	475,000,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	1,109,430株	2021年12月期	1,117,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期1Q	473,887,316株	2021年12月期1Q	479,743,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(7) 継続企業の前提に関する注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、()付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2022年12月期 第1四半期	3,468	230	6.6	257	188	182	38.50
2021年12月期 第1四半期	3,206	309	9.7	339	262	257	53.61
増減率	8.2% 実質 4.8%	(25.8)%	—	(24.3)%	(28.4)%	(29.1)%	(28.2)%

世界経済は回復基調にある中、昨年から続く原材料価格の高騰や急激な為替変動、さらにはロシア・ウクライナ問題や新型コロナウイルスの変異株の感染拡大の影響等により、経営環境は不透明な状況が続きました。

当社グループの主要市場である日本のコンシューマープロダクツ（トイレットリー及び化粧品）市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、2022年1月から3月において前年を若干上回りました。

このような中、2022年2月に発表した資本配分の考え方、ブランドマネジメントの改革等の経営戦略を順調に進めています。

その結果、売上高は、前年同期に対して8.2%増の3,468億円（実質4.8%増）となりました。営業利益は230億円（対前年同期80億円減）となり、税引前四半期利益は257億円（対前年同期82億円減）となりました。四半期利益は188億円（対前年同期75億円減）となりました。

当第1四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月
米ドル	116.30円 [105.96円]
ユーロ	130.45円 [127.74円]
中国元	18.32円 [16.35円]

注：[]内は前年同期の換算レート

【セグメント別の概況】

セグメントの業績

	売上高				営業利益				増減 (億円)
	第1四半期		増減率		第1四半期				
	2021年 12月期 (億円)	2022年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2021年12月期		2022年12月期		
				(億円)	利益率 (%)	(億円)	利益率 (%)		
ハイジーン&リビングケア事業	1,123	1,139	1.5	(1.0)	132	11.7	68	6.0	(64)
ヘルス&ビューティケア事業	815	804	(1.4)	(4.5)	113	13.8	63	7.8	(50)
ライフケア事業	118	122	3.5	1.6	8	6.4	(2)	(1.5)	(9)
化粧品事業	510	564	10.5	6.8	(30)	(5.9)	2	0.4	33
コンシューマープロダクツ事業	2,566	2,629	2.4	(0.4)	222	8.7	132	5.0	(91)
ケミカル事業	731	942	28.9	23.9	88	12.0	99	10.5	12
小計	3,297	3,571	8.3	4.9	310	—	231	—	(79)
セグメント間消去又は調整	(91)	(103)	—	—	(0)	—	(1)	—	(1)
合計	3,206	3,468	8.2	4.8	309	9.7	230	6.6	(80)

販売実績

第1四半期		(億円、増減率%)				
		日本	アジア	米州	欧州	合計
ファブリック&ホームケア製品	2021年	598	97	7	—	702
	2022年	597	107	9	—	713
	増減率	(0.3)	10.7	23.5	—	1.5
	実質	(0.3)	4.4	20.1	—	0.6
サニタリー製品	2021年	199	221	0	—	421
	2022年	182	245	0	—	427
	増減率	(8.9)	10.8	(47.5)	—	1.4
	実質	(8.9)	1.2	(49.0)	—	(3.6)
ハイジーン&リビングケア事業	2021年	798	318	7	—	1,123
	2022年	778	352	9	—	1,139
	増減率	(2.4)	10.8	20.4	—	1.5
	実質	(2.4)	2.2	17.1	—	(1.0)
ヘルス&ビューティケア事業	2021年	469	75	182	89	815
	2022年	437	82	184	101	804
	増減率	(6.7)	8.8	0.9	13.5	(1.4)
	実質	(6.7)	0.3	(7.8)	9.9	(4.5)
ライフケア事業	2021年	97	0	20	0	118
	2022年	97	0	24	0	122
	増減率	(0.0)	144.8	19.6	25.1	3.5
	実質	(0.0)	122.3	9.0	17.2	1.6
化粧品事業	2021年	339	122	13	35	510
	2022年	349	153	14	48	564
	増減率	2.7	25.5	3.1	36.9	10.5
	実質	2.7	12.6	(6.1)	31.5	6.8
コンシューマープロダクツ事業	2021年	1,704	515	224	124	2,566
	2022年	1,662	587	231	149	2,629
	増減率	(2.5)	14.0	3.4	20.1	2.4
	実質	(2.5)	4.4	(5.3)	16.0	(0.4)
ケミカル事業	2021年	285	170	107	168	731
	2022年	324	244	156	218	942
	増減率	13.4	43.9	45.9	29.3	28.9
	実質	13.4	32.8	33.2	26.6	23.9
セグメント間売上高の消去	2021年	(79)	(8)	(0)	(5)	(91)
	2022年	(89)	(9)	(0)	(5)	(103)
売上高	2021年	1,910	677	331	288	3,206
	2022年	1,897	823	387	362	3,468
	増減率	(0.7)	21.5	17.2	25.7	8.2
	実質	(0.7)	11.5	7.1	22.4	4.8

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の43.1%から47.5%となりました。

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して2.4%増の2,629億円（実質0.4%減）となりました。

各国・各地域で感染症拡大による様々な規制を解除し、経済の正常化に向けて歩みを進めている中、世界的な原材料価格の高騰や日本での新型コロナウイルスの変異株の感染拡大等による市場回復の遅れ、さらには米国での物流の混乱の影響を受けました。このような中、日本では実質的な値上げとなる様々な交渉は順調に進み、海外では値上げの効果が少しずつ出始めました。

日本の売上高は、前年同期に対して2.5%減の1,662億円となりました。

アジアでは、売上高は14.0%増の587億円（実質4.4%増）となりました。

米州の売上高は、3.4%増の231億円（実質5.3%減）となり、欧州の売上高は、20.1%増の149億円（実質16.0%増）となりました。

営業利益は、原材料価格高騰の影響等があり、132億円（対前年同期91億円減）となりました。

当社は、【ハイジーン&リビングケア事業】、【ヘルス&ビューティケア事業】、【ライフケア事業】、【化粧品事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

【ハイジーン&リビングケア事業】

売上高は、前年同期に対し1.5%増の1,139億円（実質1.0%減）となりました。

ファブリックケア製品は、厳しい競争環境の中、日本ではマーケティング活動を強化したこと等により衣料用洗剤の売り上げが、前年同期を上回りました。アジアでは売り上げは堅調に推移しました。

ホームケア製品は、昨年の高い需要の反動による市場縮小の影響を受け、売り上げは前年同期をわずかに下回りました。このような中、日本では食器用洗剤「キュキュット」が、改良品を発売しシェアを大きく伸長させました。

サニタリー製品は、前年同期を上回りました。生理用品「ロリエ」が、中国やインドネシアで好調に推移し、日本でも前年同期を上回りました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、インドネシアで配荷店の拡大やEコマースでの販売促進活動の強化により好調に推移しましたが、日本、中国で市場縮小等の影響を受け全体として売り上げは、前年同期を下回りました。

営業利益は、原材料価格高騰が大きく影響し、68億円（対前年同期64億円減）となりました。

【ヘルス&ビューティケア事業】

売上高は、前年同期に対して1.4%減の804億円（実質4.5%減）となりました。

スキンケア製品は、売り上げは前年同期を下回りました。日本ではハンドソープ等の衛生関連製品は、売り上げは伸長しましたが、UVケア製品等のシーズン品は感染症再拡大の影響を受けました。また米国では物流の混乱が影響し、売り上げは前年同期を下回りました。

ヘアケア製品は、売り上げは前年同期を下回りました。日本では厳しい競争環境が続きました。欧米のヘアサロン向け製品は、米国の「Oribe（オリベ）」は、Eコマースを中心に好調に推移しましたが、「ゴールドウェル」の売り上げは代理店の在庫調整の影響を受けました。欧州では経済活動の正常化に伴い売り上げは順調に推移しました。また海外では値上げの効果が出始めました。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、前年同期をわずかに下回りました。「めぐりズム」は順調に売り上げを伸ばしましたが、入浴剤は前年同期を下回りました。

営業利益は、63億円（対前年同期50億円減）となりました。

【ライフケア事業】

売上高は、前年同期に対して3.5%増の122億円（実質1.6%増）となりました。

業務用衛生製品は、日本では市場が前年同期に比べて回復傾向であり、外食産業や宿泊施設等で厨房用洗浄剤や手指消毒液等の需要が高まり、売り上げは伸長しました。米国では好調な経済に支えられ対象業界が伸長し、売り上げは前年同期を上回りました。

健康飲料は、特定保健用食品「ヘルシア」は、Eコマースでのロイヤルユーザーの獲得は順調に進みましたが、既存量販店での落ち込みをカバーするまでには至らず、売り上げは前年同期に比べて減少しました。

営業利益は、2億円の損失（対前年同期9億円減）となりました。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対して10.5%増の564億円（実質6.8%増）となりました。

化粧品事業は、日本では新型コロナウイルスの変異株の感染拡大で、再び外出自粛等の規制が発出され市場の回復は想定より遅れましたが、新しい価値を提案した製品の発売等により、売り上げは前年同期を上回りました。また固定費削減やメイク事業の構造改革を順調に進めました。アジアでは中国で「フリープラス」や「キュレル」が引き続き好調に推移し、欧州でも「SENSAI」や「モルトンブラウン」の売り上げが大きく伸長しました。

営業利益は、2億円（対前年同期33億円増）となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して28.9%増の942億円（実質23.9%増）となりました。

油脂製品では、天然油脂価格の上昇に伴う販売価格の改定に継続して努めたこともあり、売り上げは伸長しました。

機能材料製品は、自動車関連分野での需要停滞の影響を受けましたが、原料価格上昇に伴う販売価格の改定を進めて、売り上げは伸長しました。

スペシャルティケミカルズ製品では、ハードディスク関連製品が堅調に推移し、トナー・トナーバインダーは需要の回復を捉えて伸長しました。

営業利益は、99億円（対前年同期12億円増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、原材料価格高騰等により不透明な経営環境が続くことが予想されますが、構造改革を進めながら、さらなるコストダウン活動や戦略的な値上げ等を実施していくことで、公表数値の達成を目指していきます。従いまして、2022年2月3日に公表した連結業績予想は変更していません。

なお、連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、110円/米ドル、129円/ユーロ、17円/中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2022年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	336,069	281,929	(54,140)
営業債権及びその他の債権	216,209	207,860	(8,349)
棚卸資産	228,070	258,008	29,938
その他の金融資産	6,094	6,521	427
未収法人所得税	2,508	6,202	3,694
その他の流動資産	20,842	22,361	1,519
流動資産合計	809,792	782,881	(26,911)
非流動資産			
有形固定資産	428,609	433,103	4,494
使用権資産	144,057	140,971	(3,086)
のれん	183,498	187,226	3,728
無形資産	52,636	56,448	3,812
持分法で会計処理されている投資	10,050	9,301	(749)
その他の金融資産	23,588	23,726	138
繰延税金資産	41,348	40,876	(472)
その他の非流動資産	10,429	10,604	175
非流動資産合計	894,215	902,255	8,040
資産合計	1,704,007	1,685,136	(18,871)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2022年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	229,086	225,631	(3,455)
社債及び借入金	6,156	46,294	40,138
リース負債	19,929	19,934	5
その他の金融負債	6,329	3,460	(2,869)
未払法人所得税等	24,078	12,722	(11,356)
引当金	2,041	1,798	(243)
契約負債等	31,143	29,143	(2,000)
その他の流動負債	103,135	93,024	(10,111)
流動負債合計	421,897	432,006	10,109
非流動負債			
社債及び借入金	121,581	81,640	(39,941)
リース負債	121,016	117,819	(3,197)
その他の金融負債	7,070	7,391	321
退職給付に係る負債	29,843	29,321	(522)
引当金	8,187	8,224	37
繰延税金負債	5,830	6,082	252
その他の非流動負債	4,706	4,696	(10)
非流動負債合計	298,233	255,173	(43,060)
負債合計	720,130	687,179	(32,951)
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	105,633	105,730	97
自己株式	(3,960)	(3,903)	57
その他の資本の構成要素	(3,723)	24,377	28,100
利益剰余金	781,763	766,062	(15,701)
親会社の所有者に帰属する持分合計	965,137	977,690	12,553
非支配持分	18,740	20,267	1,527
資本合計	983,877	997,957	14,080
負債及び資本合計	1,704,007	1,685,136	(18,871)

(2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第1四半期	当第1四半期	増減
		連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	320,558	346,795	26,237
売上原価		(189,822)	(220,624)	(30,802)
売上総利益		130,736	126,171	(4,565)
販売費及び一般管理費	2	(100,688)	(103,577)	(2,889)
その他の営業収益		3,994	3,558	(436)
その他の営業費用		(3,105)	(3,200)	(95)
営業利益	1	30,937	22,952	(7,985)
金融収益		2,803	2,412	(391)
金融費用		(665)	(566)	99
持分法による投資利益		826	856	30
税引前四半期利益		33,901	25,654	(8,247)
法人所得税		(7,673)	(6,884)	789
四半期利益		26,228	18,770	(7,458)
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		25,719	18,244	(7,475)
非支配持分		509	526	17
四半期利益		26,228	18,770	(7,458)
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		53.61	38.50	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		53.60	38.50	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	26,228	18,770	(7,458)
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	261	85	(176)
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	213	18	(195)
純損益に振り替えられることのない項目合計	474	103	(371)
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	23,530	28,962	5,432
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	248	271	23
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	23,778	29,233	5,455
税引後その他の包括利益	24,252	29,336	5,084
四半期包括利益	50,480	48,106	(2,374)
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	49,309	46,577	(2,732)
非支配持分	1,171	1,529	358
四半期包括利益	50,480	48,106	(2,374)

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	85,424	106,618	(3,865)	268	(49,368)	(0)	5,724
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	23,115	1	474
四半期包括利益	-	-	-	-	23,115	1	474
自己株式の処分	-	-	97	(54)	-	-	-
自己株式の取得	-	-	(30,539)	-	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	(136)
所有者との取引等合計	-	-	(30,442)	(54)	-	-	(136)
2021年3月31日残高	85,424	106,618	(34,307)	214	(26,253)	1	6,062

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金			
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	(43,376)	778,886	923,687	14,507	938,194
四半期利益	-	25,719	25,719	509	26,228
その他の包括利益	23,590	-	23,590	662	24,252
四半期包括利益	23,590	25,719	49,309	1,171	50,480
自己株式の処分	(54)	(42)	1	-	1
自己株式の取得	-	-	(30,539)	-	(30,539)
配当金	-	(33,666)	(33,666)	(333)	(33,999)
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(136)	136	-	-	-
所有者との取引等合計	(190)	(33,572)	(64,204)	(333)	(64,537)
2021年3月31日残高	(19,976)	771,033	908,792	15,345	924,137

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2022年1月1日残高	85,424	105,633	(3,960)	175	(9,678)	(0)	5,780
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	28,224	6	103
四半期包括利益	—	—	—	—	28,224	6	103
自己株式の処分	—	—	59	(45)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(2)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	97	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	(188)
所有者との取引等合計	—	97	57	(45)	—	—	(188)
2022年3月31日残高	85,424	105,730	(3,903)	130	18,546	6	5,695

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	合計	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年1月1日残高	(3,723)	781,763	965,137	18,740	983,877
四半期利益	—	18,244	18,244	526	18,770
その他の包括利益	28,333	—	28,333	1,003	29,336
四半期包括利益	28,333	18,244	46,577	1,529	48,106
自己株式の処分	(45)	(13)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	(2)	—	(2)
株式に基づく報酬取引	—	—	97	—	97
配当金	—	(34,120)	(34,120)	(2)	(34,122)
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(188)	188	—	—	—
所有者との取引等合計	(233)	(33,945)	(34,024)	(2)	(34,026)
2022年3月31日残高	24,377	766,062	977,690	20,267	997,957

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	33,901	25,654
減価償却費及び償却費	21,704	21,601
受取利息及び受取配当金	(317)	(370)
支払利息	529	460
持分法による投資損益(益)	(826)	(856)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	458	571
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	21,336	18,235
棚卸資産の増減額(増加)	(15,375)	(22,041)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(11,578)	(10,904)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(2,098)	(1,366)
その他	(22,569)	(21,843)
小計	25,165	9,141
利息の受取額	325	357
配当金の受取額	2,092	2,044
利息の支払額	(502)	(419)
法人所得税等の支払額	(27,599)	(21,236)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(519)	(10,113)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(673)	(196)
定期預金の払戻による収入	1,774	172
有形固定資産の取得による支出	(16,117)	(13,589)
無形資産の取得による支出	(2,383)	(2,495)
その他	1,403	426
投資活動によるキャッシュ・フロー	(15,996)	(15,682)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	140	(120)
長期借入による収入	10,000	—
長期借入金の返済による支出	(10,389)	(10)
リース負債の返済による支出	(5,229)	(5,356)
自己株式の取得による支出	(30,539)	(2)
支払配当金	(32,940)	(33,446)
非支配持分への支払配当金	(3)	(3)
その他	(5)	(6)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(68,965)	(38,943)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(85,480)	(64,738)
現金及び現金同等物の期首残高	353,176	336,069
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	8,648	10,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	276,344	281,929

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント		主要製品	
コンシューマー プロダクツ事業	ハイジーン&リビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルス&ビューティケア事業	スキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗淨料
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
ライフケア事業	ライフケア製品	業務用衛生製品、健康飲料	
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品	
ケミカル事業	油脂製品	高級アルコール、油脂アミン、脂肪酸、グリセリン、業務用食用油	
	機能材料製品	界面活性剤、プラスチック用添加剤、コンクリート用混和剤、道路用薬剤	
	スペシャルティケミカルズ製品	トナー、トナーバインダー、水性インクジェット用顔料インク、香料	

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第1四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	112,295	81,545	11,816	50,993	256,649	63,909	320,558	—	320,558
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	9,141	9,141	(9,141)	—
売上高合計	112,295	81,545	11,816	50,993	256,649	73,050	329,699	(9,141)	320,558
営業利益（又は損失）	13,181	11,293	755	(3,015)	22,214	8,759	30,973	(36)	30,937
金融収益									2,803
金融費用									(665)
持分法による投資利益									826
税引前四半期利益									33,901

(注1) 営業利益（又は損失）の調整額(36)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	113,930	80,412	12,231	56,360	262,933	83,862	346,795	—	346,795
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	10,313	10,313	(10,313)	—
売上高合計	113,930	80,412	12,231	56,360	262,933	94,175	357,108	(10,313)	346,795
営業利益 (又は損失)	6,818	6,279	(186)	244	13,155	9,921	23,076	(124)	22,952
金融収益									2,412
金融費用									(566)
持分法による投資利益									856
税引前四半期利益									25,654

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額(124)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	14,594	14,870
販売促進費	10,050	9,337
従業員給付費用	38,205	39,429
減価償却費	4,602	4,295
償却費	2,104	1,994
研究開発費	14,908	15,578
その他	16,225	18,074
合計	100,688	103,577

(7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。